

# 戸谷成雄 森

# 湖 再生と記憶

Shigeo Toya Forest - Lake: Regeneration and Memory



《雷神・09》(2009) 撮影：山本 耕 画像提供：武蔵野美術大学美術館・図書館

市原湖畔美術館 (千葉県市原市不入75-1)

2021年10月16日〔土〕—2022年1月16日〔日〕

開館時間：平日10時—17時 / 土曜・祝前日9時30分—19時 / 日曜・祝日9時30分—18時  
休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月27日〔月〕—1月3日〔月])

料金：一般800(700)円 / 大高生・65歳以上600(500)円

\*( )内は20名以上の団体料金

\*中学生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方とその介添者(1名)は無料

# 戸谷成雄 森

## 湖再生と記憶

「彫刻」の概念の再構築を試み、一貫して「彫刻とはなにか」を追求し続けてきた日本を代表する彫刻家、戸谷成雄。チェンソーで木を彫り刻むことで生まれる作品には、文明論的近代批判、人間への洞察、土地の記憶、自然への想像力が深く刻み込まれています。本展では、ダム建設により誕生した人工湖の畔にたたくむ当美術館の時空間をひとつのインスピレーションとして、巨大なヴォイド（アトリウム空間）を中心に、〈森〉〈土地〉〈水脈〉に連なる作品を展観します。戸谷の彫刻世界の新たな魅力を発見いただければ幸いです。



《視察1散》(2019) 撮影・武藤滋生



《双影景》(2008) 撮影・山本耕



《地室IV》(1993)



《落下》(1992) 撮影・成田弘



《森》(2017, 2018) 撮影・武藤滋生



《水根II(スワ)》(2005)



撮影・武藤滋生

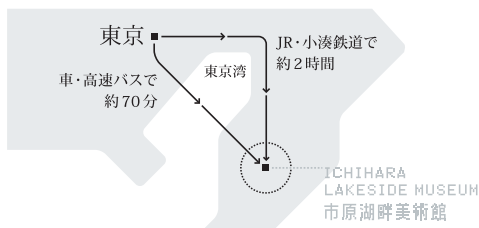
### 戸谷成雄（とやしげお）

1947年長野県生まれ。埼玉県秩父にアトリエをかまえる。愛知県立芸術大学大学院彫刻専攻修了。主な美術館での個展に広島市現代美術館、愛知県美術館、ヴァンサン・彫刻庭園美術館、武蔵野美術大学美術館・図書館など。1988年ヴェネチア・ビエンナーレ参加以降は、光州ビエンナーレ（2000）、アジア賞受賞など。多くの国際展に参加し、国内外で活躍。2004年芸術選奨文部科学大臣賞、2009年紫綬褒章受章。武蔵野美術大学彫刻科名誉教授。

### 関連展示「湖の記憶」

1990年の高滝ダム建設によって誕生した高滝湖。ダムが出来る以前の地域の写真や資料を展示します。

### アクセス



〈鉄道で〉		〈車で〉	
JR内房線五井駅		東京湾アクラライン	
小湊鉄道乗換え		川崎浮島JCT	
約40分		約40分	
小湊鉄道 高滝駅		圏央道（茂原方面）	館山道
徒歩	タクシー	市原鶴舞IC	市原IC
↓ 20分	↓ 5分	出口左折 約5分	国道297号線 約35分
市原湖畔美術館		市原湖畔美術館	

〈バスで〉	
東京駅八重洲口	横浜駅/羽田空港
東京-勝浦線	横浜駅東口ターミナル/羽田空港第1第2ターミナル-茂原線
2番のりば	横浜駅より約80分 羽田空港より約50分
約60分	
市原鶴舞バスターミナル	
タクシー	
約5分(約3km)	
市原湖畔美術館	